

まちづくり 瓦版

久米・櫛ヶ浜
小学校区
第 1 回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

“ 私たちのまち ” を語り合う、ワークショップ^o 開かれる

8 月 11 日(土)、午前 9:30 から、櫛浜コミュニティセンターにおいて、周南市都市計画課、都市整備課主催の第 1 回地域別市民ワークショップ（参加者が対等の立場で、意見交換や作業を行う方式の懇談会）が開かれました。

ワークショップの目的は、都市計画に関する基本的な計画「都市計画マスタープラン」、及び緑地の整備・保全に関する「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声を計画に反映させることです。

地区内から 6 人が出席し、市の司会進行のもと、2 班にわかれて、地域の「良いところ」「悪いところ」について意見を出していただき、理想とする将来の姿やその実現のための方策などを提案していただきました。

約 2 時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。

地区の活性化や人が定住していくためにはどうしたらよいか、等、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

作業プログラム

時間	内容	時間
09:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約 20 分
09:55	「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約 40 分
10:00	ステップ 1 「よいところ、わるいところを探 す」よいところ、わるいところマップをつくる	
10:35	ステップ 2 「こんなふうにしたことを考 える」こんなふうにしたねマップをつくり整備 メニュー整理表にする	約 40 分
11:00	「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
11:15	ステップ 3 「発表」 成果を発表します	約 20 分
11:35	まとめ	約 10 分
11:40	おつかれさまでした。解散。	

イチおしは
「太華山と、
とおの山の眺望」
じゃけん。

(よいところで一番多かつ
た意見です。)



1 班の主な意見(櫛ヶ浜小学校区)

よいところ

- ・ 蛭がいる
- ・ 太華山の景観は誇り
- ・ 堀川クリーン作業活動を実施中



わるいところ

- ・ 宅地のスプロールで道路がない
- ・ 堀川に橋(船が通れない)日本唯一の堀川 泥がたまる 行政が管理すべき
- ・ 土地が荒れ放ち(土地の利用がない)
- ・ 太華山が整備されていない
- ・ 道路に草が茂っている
- ・ 低地で高潮、大潮のたびに浸水する
- ・ 海岸通りが暗い、ゴミ投棄がある



まちづくりのキーワード・テーマ
太華山、堀川を活かしたまちづくり
人が集いまちづくりを進める

施策メニュー

- ・ 空き地の有効利用をする
- ・ 商店街の活性化を考える
- ・ 産業会館を堀川に誘致したい
- ・ 調整区域の見直しを!
- ・ 竹林の伐採をする
- ・ 竹炭をつくる
- ・ 良港の使い方を十分に検討する
- ・ 潮干狩り(干潟)など堀川をいかす
- ・ 産業道路の整備と堀川の歴史資源との共存、調和をおこなう
- ・ 電線を地中化する
- ・ 堀川橋+柳通りを整備する
- ・ 観光により人により人呼び込む。太華山を中心に活性化を!



ワークショップに参加して (終了後のアンケートのご意見です)

- ・ 大島半島全体での話し合いにして欲しかった
- ・ 自分の知らなかったことなど、いろいろと地域のことがよく分かった

2班の主な意見 (久米小学校区)

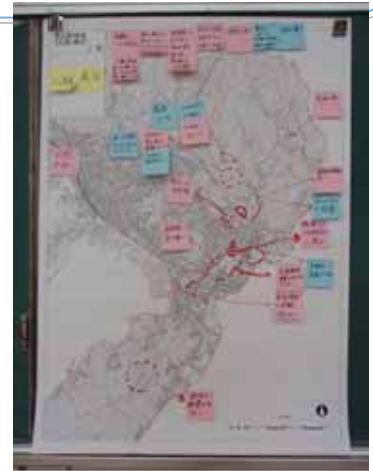
よいところ

- ・釣りのスポット、バス釣りができる
- ・散策コースがある
- ・天神山、花見ができる
- ・若い人(学生)のランニングコースがある
- ・とおの山の眺望がよい
- ・自然が豊かである
- ・地区で夏祭りをおこなっている



わるいところ

- ・道路の整備が悪い
- ・徳山東ICの入り口の表示が悪い
- ・荒地が多い
- ・ため池が危険である
- ・とおの山の登山道が整備されていない
- ・通学路、道が狭い
- ・区画整理事業が遅れている
- ・雨水排水の問題(低地)がある
- ・魅力のあるお店がない
- ・防災、防犯に問題がある
- ・新しく来た人とコミュニケーションがとれない

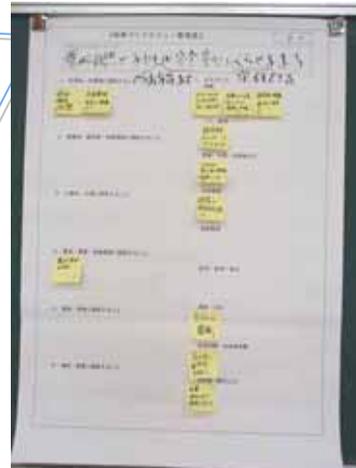


まちづくりのキーワード・テーマ

豊かな自然で、こどもからお年寄りまでが安全
安心にらせる(定住できる)まち

施策メニュー

- ・雨水、排水対策をする
- ・区画整理、早急に整備する
- ・農地(荒地)の活用をする
- ・インターの入り口をわかりやすくする
- ・高専までの道(急カーブ)の整備、対策をおこなう
- ・通学路の整備。道を広く安全にする
- ・都市部からのアクセスをよくする
- ・とおの山登山道を整備(散策コース)する
- ・校舎の有効利用を考える
- ・古墳の整備をする



瓦版”いかがでしたでしょうか。ワークショップをもう一度ふり返っていただければ幸いです。お気づきの点、付け加えたいこと、新しい提案などがございましたら、また都市計画や緑に関する事などまちづくり全般に関わるご質問がございましたら、遠慮無く都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。

まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかねばなりません。今後ともご理解・ご協力をお願い致します。

台風で日程が変更となり大変ご迷惑をおかけしました。